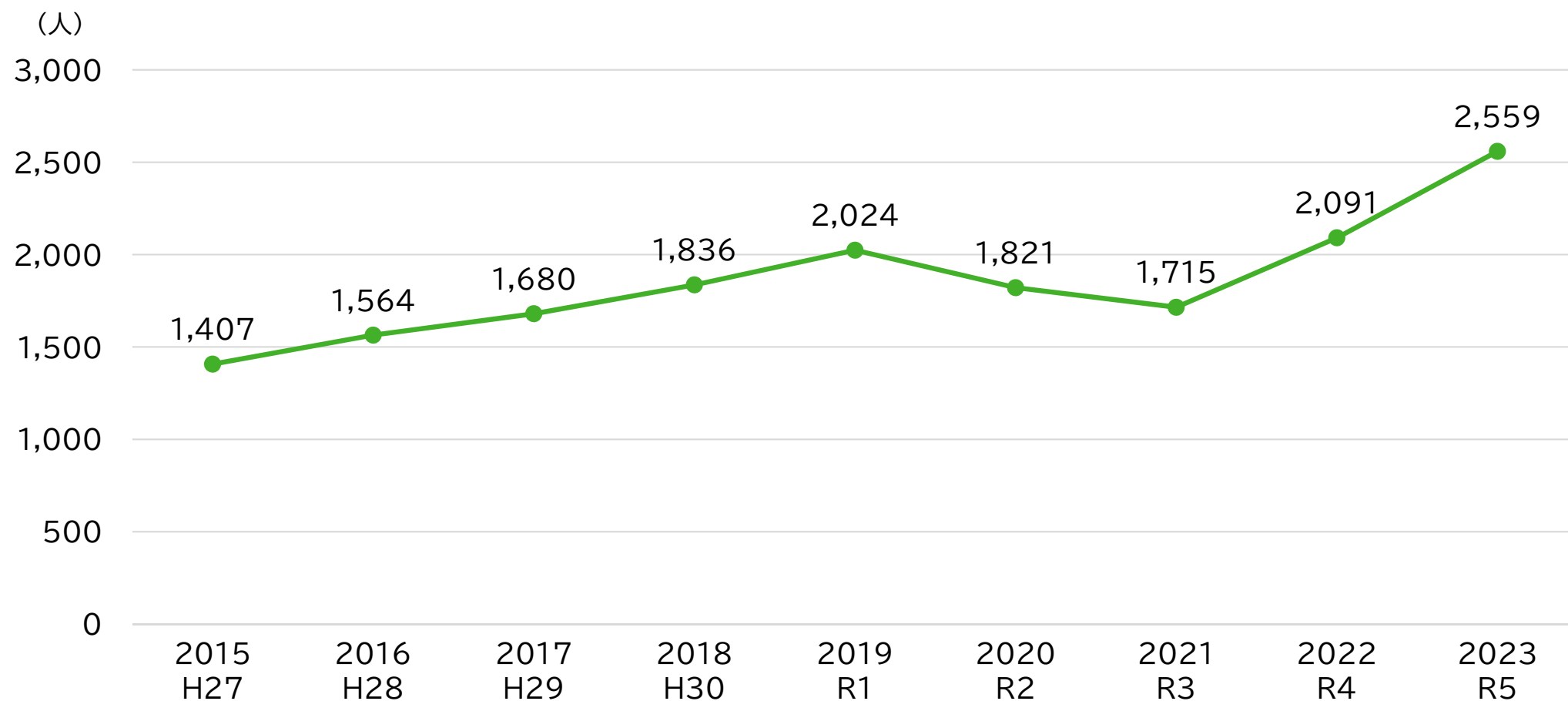


I.人口 | 7.外国人人口

資料2

外国人人口の推移

- 市の外国人人口は2015(平成27)年から2019(令和元)年にかけて年々増加しており、600人程度増加した。
- 2019(令和元)年から2021(令和3)年にかけてはコロナ禍の影響と考えられるが、300人程度減少している。
- コロナ禍が明けてからは近年にないペースで外国人人口が増加しており、2021(令和3)年から2023(令和5)年にかけて800人程度増加している。



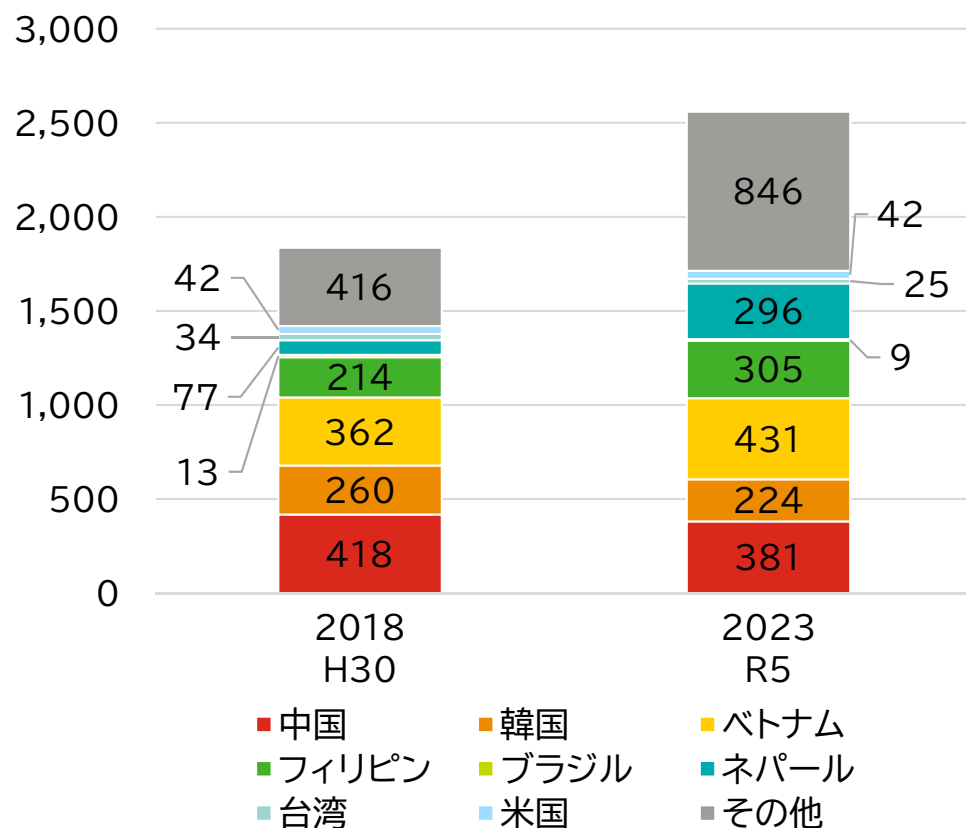
出典:総務省「在留外国人統計」

I.人口 | 7.外国人人口

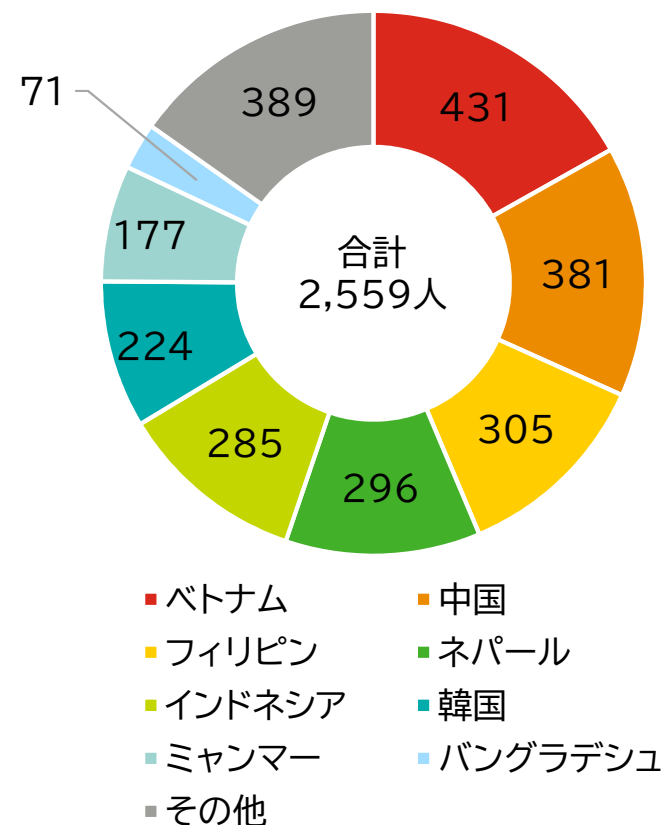
外国人人口の国籍別内訳

- 2018(平成30)年と2023(令和5)年のデータを比較すると、ネパール人は200人以上、ベトナム国籍が70人程度、フィリピン国籍が90人程度増加しており、全体としても外国人人口は増加している。
- 国籍別人口を見ると、ベトナムやフィリピン、インドネシアといった東南アジアの人口が多くまた中国や韓国といった東アジア、ネパールやバングラデシュといった南アジアの人口も多くなっており、外国人人口の80%以上がアジア圏で構成されている。

2018(平成30)年～2023(令和5)年の国籍別内訳
(国内の国籍別人口上位8カ国を表示)



2023(令和5)年12月末の市内の国籍別人口の内訳
(市内の国籍別人口上位8カ国を表示)



出典:総務省「在留外国人統計」